ROTARY CLUB OF KANAZAWA-NORTH

金沢北ロータリークラブ
例会日：木曜日 12:30～13:30
例会場：卯辰山・ホワイトハウス
事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所
TEL〈0762〉63-1151
会長：岡田 林太郎　幹事：釣見 栄一
情報委員長：清水　忠

1978・3月23日　第111号

柴田三郎会員満25年皆出席を記念して

会長　岡 田 林太郎

柴田会員25年間皆出席、先づその偉業を称えてお目出度うございますとお喜びを申上げます。２月中旬に事務局員より柴田会員が３月初旬でロータリー歴25年で而も皆出席ですと報告を耳に致しました。

瞬間私は立派な事だなあ「あやかり」たいものだと直感致しました。年月の過ぐるのは長いようで短いものと良く言われるが、ようこそ柴田会員偉大な業績を達成されましたなあと、特に北ロータリークラブが創立以来日尚浅いので尚更その感を深くしたのかも知れません。同席の会員も異口同音に柴田会員に「あやかろう」ではないかと申合せた次第です。

柴田会員が金沢ロータリークラブに25年前に入会され、数年後に東ロータリークラブに10数年在籍、そして北ロータリークラブ創立の一人として現在迄其の間偏にロータリー精神に則られ幾多の真韻な奉仕活動、私達の模範であり良き教訓を示されたのであります。

どうしてこの様なエネルギーが発揮出来るのでしょうかと考えて見ました。第一に健康であった事、真理の追求と責任性の旺盛、人間的に真面目で幅広い親睦と愛情の深さ、奉仕の理念に敏感その他数々の理想の実現性等々が斯くあらしめたのではないでしょうか。平々凡々の私には大いに学ばねばならぬ事と常日頃感じている今日この頃でありました。

金沢の５ロータリークラブの会員の内25年間皆出席の偉業を達せられた方は現在柴田会員を含めて９名であります。その会員の社会的業績と地位を見聞致しましても、皆夫々御立派な方達であります。一つに通ずるものは総べてに於ても通ずる譬の通りで、本当に羨しい限りであります。

25年間の皆出席を考えて私自身現在70才を迎えましたが、後20年のロータリー歴えは大変だ到底其の時の姿は？「あやかる」にしては夢の又夢で程々にと悟りを開いたのであります。

私は柴田会員を敬愛の見地から柴田先生とお呼びしたいのです。どうか柴田先生今後共御身体を御自愛なされまして、尚一層ロータリー精神を通じて社会的にも家庭的にも一層の御発展を心から祈念して「あやかる会」のお祝の言葉と致します。

柴田さん、おめでとう

金沢東RC元会長　鈴木　菊男氏

柴田さん、おめでとうございます。私は昭和33年11月に金沢東ＲＣに入会しましたが、入会当初は、周囲が偉い人ばかりに見えて例会に足を運ぶのも気が重いという始末でした。

ところが、５年目に会長が柴田さん、私が幹事をやれという事になりました。ロータリーの事を何も知らない私も、私なりに努力し、時あたかも東クラブ５周年という事で、毎日のように商工会議所の中の事務所へ通いました。その一年間、柴田さんから学んだ事は私の一生に大きな教訓を与えてくれました。

柴田さんはどんな些細なことでも、噛んで含めるような親切丁寧に教えて下さいました。しかもどんな事があっても決してしからないのです。

その時以来、私は会社で社員をしからなくなりました。今日私と社員の人間関係がうまくいって低成長経済の環境の中で、社業を順調に発展させていっているのも、そのお陰です。

今日は柴田さんの25年にあやかる会という事ですが、私には25年に教えられる会という気がします。

どうか、柴田さん。益々お元気で、ロータリーや事業にご活躍下さい。

金沢東RC元会長　新名　健吉氏

私は柴田さんの推せんでロータリーに入り、いわゆる柴田学校の第一期生として、薫陶をうけ、柴田さんの後を襲って東クラブの会長をつとめました。

世上、厳しい先生ほどなつかしいといわれますが、柴田さんもその例外ではありません。ロータリー精神とは何か。ロータリアンとしての義務は？資格や品格は？　という事について、これほど厳しく深く教えられた人はいません。戦後間もなく、金沢がロータリーの全国大会を引受けた事があります。当時はまだ物心両面の混乱のさ中で金沢のような小さな町には大会をする力がありませんでした。

ところが、柴田リーダーは先頭に立たれて、「ともかくやろうではないか。無いものは努力で創り出せばいいではないか」。と、我々を叱咤激励されました。会場は吹きさらしの石川県スポーツセンター。テーブルがないので、私の方から持ち出した36の人絹の布切れを敷いて何とか大会を成功させた思い出が深い感動と共によみがえります。

そういった柴田さんのロータリー25年の足跡は限りなく大きく立派なものです。

どうか、これからもロータリーのために、後進の指導のためにご活躍下さい。

金沢北RC元会長　越野　民男氏

私は、金沢東ＲＣへ入会して２年目、会報委員を担当しました。卓話の要約を、１千字内外の文章にまとめる仕事ですが、その中で、柴田さんのソ連紀行の卓話が、30分というもの最初から最後まで、首尾一貫して抜く所が無く、困り果てたという思い出が残っています。それが、柴田さんという人を初めて知った出会いでした。

その後、金沢北ＲＣが出来まして、山田さんや大村さんや私などと一緒に柴田さんが移籍された時も、厳しい恐ろしい人というイメージしかありませんでした。

ところが、金沢北ＲＣへ移られてからの柴田さんは、文字通り円満玉のような温厚な人柄で、ロータリーの右も左も知らない後進を、やさしく指導されるという様に見受けられます。

おそらく柴田さんは、柴田ロータリー精神の灯を、金沢北ＲＣの新しい皮袋の中に点じよう、古くて新しいロータリーを創ろうというお気持ちで、北ＲＣに来られたのではないかと思います。

私たちは、柴田さんが点じた灯を、新しい焚火に引き継ぎながら、何時までも燃やし続けて行きたいと思います。どうか何時までもお元気で私たちをご指導願います。

金沢北RC次期会長予定者　若野　三朗氏

金沢北RCが出来た頃、東RCから移籍された人たちが、柴田さんの事を、ロータリーの生き辞引の様に云われたのを、私たちは、盲蛇におじずという言葉の通り、人事のように深く考えないで来ました。

ところが、その後、ロータリー活動を実践したり、各地の研修会や大会に出席したり、文献を勉強したりするにつれ、柴田さんの言動がすべて、ロータリー精神の神髄に触れている事が分り、柴田さんの偉大さが分りかけて来たような気がします。

柴田さんは、私はもう、長というものにはならない。一会員として後進の指導に当りたいと云われますが、そこには、すべてを経験された後で地の塩になろうという高い境地がうかがわれます。

最近のザロータリアンには、ロータリー50年という10数名のアメリカ人が紹介されていましたが、どうか柴田さんも、ロータリー50年を目指して、何時までもお元気で活躍されます様祈って挨拶に代えます。

柴田三郎君ロータリー25年

1953	3月	金沢ロータリークラブ入会	（在籍５か年）
1954			会場監督
1955			幹事
1955		第62地区大会	大会幹事
1958	6月	金沢東ロータリークラブ創立移籍	（在籍15か年）
1961			副会長
1962			会長
1966～1967		第360地区岡田ガバナー月信	編集
1967～1969		ロータリーの友　第361地区	地区委員
1968		ロータリー文献　「ロータリアン読本」	出版
1969		第361地区大会	計画委員長
1970		第361地区　石川県	分区代理
1970		ロータリー文献　「ひろがれーまわれ」	出版
1973	10月	金沢北ロータリークラブ創立移籍	
1974		「ロータリー　何をなすべきか」	論文入選
1978	2月	皆出席　25か年達成	

この間、地区諸委員・地区大会、地区協議会リーダーなどを歴任
現在、金沢北ロータリークラブ理事、シニアアクチブ（漁網製造）
ロータリーの正道を求めつつ、筋を通すよう努めてこられた。

記念随想

柴田さんのロータリー25才を寿ぐ

情報委員長　清　水　　忠

人の小さな善意が、それを受けた人にとっては、一生忘れがたい強烈な印象を与えるということは世上稀ではありません。

15年程前にもなりましょうか。「私の秘密」というテレビ番組がありました。

芹沢光治郎という有名な作家が、ご対面という場面で、沼津の或る家具会社の社長と対面しました。その家具会社の社長は、終戦直後の苦しい時代、幾度か商買を替えようと思っていた或る日のこと。そのセンスの良い家具屋さんのファンの一人であった芹沢さんから激励の手紙を貰ったのがきっかけとなりまして、事業をより以上に立派に成長させた訳であります。

芹沢さんは、自分がその手紙を出した事さえも忘れているのに、家具屋さんは、一生の恩人と崇っていたやりとりが、私の印象に強く残っております。

之と同じ様な話が、私のすぐ身のまわりにもあります。

30年前、私の父は、事情がありまして、勤め先の会社をやめなければなりませんでした。その事を家族にも云えないで、毎日、公園や図書館をブラブラしておりました或る日のこと。当時、石川県漁網組合の理事長をしておられた或る人から、一通の手紙を貰いました。

『貴方が挫折する事は、漁網界にとって損失です。どうか頑張って下さい。』

手紙には、そう書いてありました。

四面楚歌の逆境の中で、父は大変感動しました。それが一つのきっかけとなりまして、清水製網を興し、私が引き継いで、ささやか乍ら今日に至っている訳であります。

その或る人というのは、他ならぬ柴田三郎さんです。私は、この話を20年前父が亡くなるまで、父の口から一度も聞きませんでした。

ごく最近、母がこの話をしまして、私は深い感銘を受けました。

恐らく今初めて、この話をご覧になる柴田さんは、手紙を書かれた事自体を忘れておられるに違いありません。

しかし、その一見さり気ない様に見える無償の善意が無限の価値を持っています。人間というものは、そういった所で、不思議に深く結びつくものかも知れません。

そして、その無償の善意こそロータリーの最も高い境地であって、そういった意識に裏附けされておられゝばこそ、柴田さんは、ロータリー25才皆出席という前人未踏の栄光を、打ち樹てられたのではないかと私は思います。

〝辿りつき　振り返り見れば山河を　越えては越えて来つるものかな〟

柴田さん、25年の山河を振り返りながら、更に50年の新たなる山河に向って、どうかお元気で前進して下さい。私は息をひそめて、陰ながら柴田さんのご健勝を祈っております。

光を求めて25年

―記念例会の光栄―

柴田　三郎

この秋、創立5周年を迎えんとして、若々しい活力に溢れる金沢北ＲＣの皆さんの計らいで、古色蒼然の私に、思いがけない、思いやりと友情のスポットライトが当てられた。この日、貴重な例会を私のために……そして、私のロータリー25年と、その皆出席を記念してやろう……という晴がましい限りの設定である。私は感激と歓喜と感謝で胸いっぱい、わがロータリー最良の日となった。

私は、かねてロータリーに魅かれつつ、いつの頃からか、ロータリーの理念は、キリストの愛、儒家の仁、仏門の慈悲などミックスしたようなもので、人生最高の道徳、処世最善の倫理、哲学として、私の信仰とし、心の支えとして今日に至ったのである。もちろん、その実践には、まだまだ程遠く凡夫のあさましさに、常に心の葛藤と闘い、努めつつロータリーの光明を求め続けている始末である。

しかし、この間おこがましくも、ロータリーはこれでいいのだろうかと、「徳、孤ならず必ず隣あり」を描きつつ、いわゆるヅケヅケ、他人さまにまで行き過ぎが及んだようで、今、深く反省へ誘われている。

さて私の、この25年は、私の人生と事業における最も重要なる時期であり、苦難と激闘の時代であり、希望と情熱の節目でもあった。昭和28年３月、谷村、柿下、福光の諸氏と共に同時に私ら４人が、当時、石川県ただ一つの金沢ＲＣに入会。クラブは45名になったと記憶しているが、当時のメンバーも今、数名を残すのみとなって、短かくて長かった25年の重味を、しみじみ嚙みしめている次第である。幸いにして私は、環境に支えられ、健康に恵まれて経過。この間、非力の中にベストを尽くし、ささやかながら私なりの足跡を残しつつ、望外の皆出席をも達成出来た。

私は今、改めて、当クラブを始め、金沢市の、石川県の、そして全国各地のロータリアン諸兄のご友情に心から御礼申し上げねばならない。筆舌をもって尽せぬ、多くの大きなロータリーの恩恵を蒙った。そして私は、満ち足りた喜びいっぱいである。

私は、これからの人生の余白を、70年に亘るもろもろなるご恩と、ロータリーへのご恩返しに捧げねば相済まぬと、心から思いを新たにしている。かような次第で、かねて念願の〝米山記念奨学会〟へ、この機会、ロータリー25年に因んでの私なりの寄金も果たしたが、まだまだ借りは大きく残っている。

クラブの皆さんからは水野先生の芸術作品を記念に贈られる光栄に浴した。また、この日のためホワイトハウスさんは、お心尽しの赤飯に特別料理を、また当の私には、めで鯛も供せられて、私は胸の熱くなるのを覚え、ロータリーの友情と思いやりを身にしみて訓えられた。

第221回例会

◆3月9日(木)　ホワイトハウス　12:30～13:30

1．講　　話　〝癌の話〟　金沢医科大学消化器外科
教授　小坂進先生

2．出欠
出席34名、欠席12名
出席率73.91%
ビジター18名

3．来訪者
福岡RC
松原賢君(航空運輸)
猪瀬誠三君(同伴者)
河北RC　今城孝男君
(電気工事)
金沢RC　坪野俊雄君、竹島郁夫君
斉藤隆三君、松本静夫君
荒木登君、北川晶夫君
金沢東RC　大井一星君、大内三郎君
加藤義一郎君、中田淳造君
金沢西RC　瀬戸弥一君、市原正士君
金沢南RC　岩崎善四郎君
米谷半平君、河崎屋三郎君

4．幹事報告　○3月定例理事会
3月16日(木)　例会終了後
○I.C.G.F　3月12日(日)
日時　11:30 登録受付・昼食
12:30 開会　　15:00 閉会
場所　加賀片山津温泉　ホテルながやま
出席者　岡田、釣見、越野、俵、小杉(善)
沢田、飯野、浅野　計8名
○第九回日展金沢展の前売券は事務局までお申し込み下さい。

5．今日のニュース　ロンドンの外国為替市場の円相場は、1ドル229円90銭と、遂に230円の大台を割って、史上最高値をつけた。日銀は、この環境の中で景気浮揚のため、公定歩合を0.75%下げ、3.5%と史上最低水準に決定。即日実施した。

第222回例会

◆3月16日(木)　ホワイトハウス　12:30～13:30

1．講　　話　「柴田さんとの思い出話」
金沢東RC会員　鈴木菊男君
〃　　新名健吉君
越野民男君、岡田林太郎君

2．出　　欠　出席40名、欠席6名、出席率86.96%
ビジター18名

3．来訪者者　東京RC　酒井億尋君(シニア・アクチブ)
鎌倉RC　蓮田修吾郎君(金工芸)
八尾RC　風井稔君(健康食品)
金沢RC　辻作次郎君、河野良三君
三ッ野真三郎君
金沢東RC　山田勝二君、岸本健一君
鈴木菊男君、新名健吉君
田川克次君、浅田裕久君
金沢西RC　角永豊次君、柚木健君
吉村格思君
金沢南RC　田畑富生君、成瀬栄蔵君
北川泰信君

4．幹事報告　柴田三郎25ヶ年皆出席記念例会
司会　浅田豊久君
柴田三郎ロータリー25年　経歴配布

5．ニコニコBOX
○長男金沢大学法文学部を卒業と結婚
柴田大先輩おめでとうございます
平尾信明君
○長男京都大学工学部を卒業して
水野博君
○入会の保障人であります柴田さんおめでとうございます　益谷健夫君

6．今日のニュース　ローマで、イタリヤキリスト教民主党党首（前首相）のモロ氏が誘かいされた。犯人は、過激派「赤い旅団」で「人民の獄舎」で方判にかけると、新聞社に通告して来た。

理事会報告

1978年3月16日(木)
於　ホワイトハウス
出席者　17名

■金沢5RC合同役員会報告

◇都市安全委員会事業の件
「加賀とび伝統保持のため」50万円寄附、各C人頭割
◇現代美術展の件
1クラブ1万円（従来通り）
◇事務局給料・退職金の件
◇合同ゴルフ大会の件
4月22日(土)　東RC担当　各クラブ1万円の負担金

■協議事項

◇おゝロータリアン残部の件
3/26　次年度地区協議会にお願いする
◇梅林残金の件
岡田会長より市当局と話し合いの結果を待つ
◇五周年記念講師の件
Y・K・Kの吉田社長への交渉（3/26協議会）
◇京都洛北友好会への件
京都洛北7月の例会に友好調印式に認証式の当クラブの8mmスライド貸与について
◇清水会員の講話テープの件
希望者をつのる。
◇修練委員会より
・伊丹RC　中村正巳会員著書〝ロータリーインフォメーション51週〟を会員全員に配布（¥1,000）
・加賀RC情報委員会〝ロータリーのしおり〟配布
・ロータリー精神の根幹配布について
（五周年記念事業の一つとして）
◇地域開発委員会より
4/13講話者　金大学長　豊田先生
例会終了後〝金大の問題〟について役員、地域開発委員、他希望者会員の参加